

平成29年11月7日(火) 14:30～
京セラドーム大阪

第43回社会人野球日本選手権大会
2回戦

VS

JR東日本東北

先制したい打線は2回、4番・増野の死球、5番・竹内のヒット、6番・加藤の送りバント、7番・大野の四球で1死満塁のチャンスを作る。ここで続く8番・道端がレフトオーバーの走者一掃となるタイムリー2塁打！3点を先制し相手の先発投手をマウンドから引きずり下ろす。

早く突き放したい打線は3回から5回まで毎回走者を得点圏にすすめるが、チャンスであと一本が出ずなかなか追加点が奪えない。さらに6回は三者凡退に終わり嫌な流れができる。

7回、2死無走者から4番・増野が四球で出塁し5番・竹内がレフト線への2塁打で2死2、3塁とすると、6番・加藤が四球を選んで2死満塁となる。すると続く7番・大野が三遊間へしぶとく運び増野、竹内が生還、2点タイムリーヒットで5-0と点差を広げる！

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	安打	0	2	1	0	0	0	2	0	2	7
	得点	0	3	0	0	0	0	2	0	0	5
JR東日本東北	安打	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	得点	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	安打	0	1	0	1	2	2	1	2	0	9

先発の大久保は初回、エラーのランナーを出すが無失点で立ち上がる。さらに先制した2回も先頭打者に2塁打を浴び、ピンチを迎えるが続く打者をきっちりと打ち取りこも無失点に抑え相手に反撃の糸口を与えない。

先発の大久保は4回には2死1、2塁、5回に1死1、2塁、6回は2死2、3塁と3イニング連続でピンチを迎えるが、4回は7番打者を空振り三振、5回は2番打者をダブルプレーに打ち取り無失点に抑える。そして6回は7番打者にレフトへいい当たりをされるがレフト・竹内が見事なスライディングキャッチでアウトにしこも得点を与えない！

7回、大久保が1番打者にソロホームランを浴び1点を失う。8回からは2番手として黒萩が登板、8回はピンチを迎えるが連続三振で切り抜けると、9回は三者凡退に打ち取って試合終了。5-1で勝利し創部初の日本選手権ベスト8を勝ち取った！

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打				打点	盗塁	犠打	犠飛	四死	打率
						計	単	二塁	三塁						
1	6	吉田	総合法人第五部	5	4	0								1	0.000
2	5	木田	所沢支社	5	4	0								1	0.000
3	8	宮川	上野支社	5	5	0									0.000
4	9	増野	川崎支社	5	3	1	1							2	0.333
5	7	竹内	町田支社	5	3	3	2	1			1	1	1	1	1.000
6	DH	加藤	八王子支社	5	3	1	1					1	1	1	0.333
7	3	大野	池袋支社	4	2	1	1			2				2	0.500
	H→3	島田	八王子支社	1	1	0									0.000
8	2	道端	丸の内支社	4	4	1		1		3					0.250
9	4	新城	新宿支社	4	3	0							1	1	0.000
計				43	32	7	5	2	0	0	5	1	2	9	0.219

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	大久保	立川支社	○	7	29	120	7	4	1	1	1	1.29
2番手	黒萩	浦和支社		2	8	27	2	2	0	0	0	0.00
計				9	37	•	9	6	1	1	1	1.00